

# くしろ



ホームページ  
QRコード



## 『あいのて』酪農家ならではの食文化を地域に広めたい

浜中町の大谷さつきさんは、自家産の生乳を使ったチーズを食卓に並べるといふ酪農家ならではの食文化を広めるため活動しています。酪農家がチーズ作りを続けられるように、仲間とグループを立ち上げ、加工技術の伝承や、試作したチーズの試食会を開催しています。

この度、自分の牧場の生乳を使ったチーズやパンを一般の方にも食べてもらいたいという思いから、自宅を改装し、カフェ「あいのて」を開業しました。「あいのて」では、焼き立てパンの販売や、予約制ですが、自家製チーズを使用したランチを提供しています。

	所在地	電話・FAX	Eメールアドレス
釧路農業改良普及センター本所	〒088-2313 川上郡標茶町常盤8丁目5番地	Tel:015-485-2514 Fax:015-485-2249	kusirokita-nokai.11@pref.hokkaido.lg.jp
釧路東部支所	〒088-1365 厚岸郡浜中町茶内橋北東31番地	Tel:0153-65-2021 Fax:0153-65-2037	kushiroto-nokai.11@pref.hokkaido.lg.jp
釧路中西部支所	〒084-0917 釧路市大楽毛127番地	Tel:0154-57-8306 Fax:0154-57-4702	kushirochu-nokai.11@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページアドレス : <http://www.kushiro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm>

釧路中西部支所は、令和3年から5カ年計画で白糠町茶路地域を中心に支援をしています。ここで得られた成果内容は、他の地域への波及も視野に入れています。

暑熱によるストレスや換気不足が乳量の低下や疾病に繋がることから、今年度は、牛舎環境測定を行いました(写真1)。測定項目は温度・湿度・二酸化炭素濃度・風速です。温湿度からわかる暑熱ストレス指標や空気のおよみ・牛の体感温度等を数値化して、その



写真1 環境測定器と風速計で牛舎環境を測定

状況を牛舎図面に表しました(図1)

これにより、A農場では空気のおよみがみられたため牛舎後方のシャッター開放を提案しました。その結果、通気が良くなり、二酸化炭素濃度が低下したことで、乳量低下を防ぐことができました。

今年度は、この提案を含め生乳を安定的に生産するための飼養管理技術の導入や、草地植生の改善について支援しています。

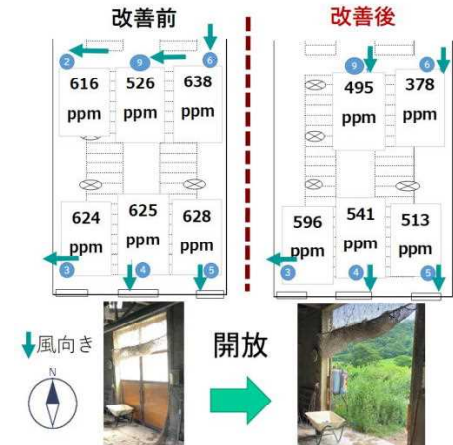


図1 A農場シャッター解放前後の二酸化炭素濃度と風向き

新規就農者の学習組織である「標茶町農学ゼミナール」は、酪農の知識習得を目的に、学習会や視察を行っています。

令和4年5月の集合学習では、牧草品種の違いやサイレージ調製作業について勉強し、その後牧草地で現地演習を行いました。実際に牧草・雑草の特徴を確認した参加者から「牧草をじっくり見ることができて勉強になった」「自分の草地の植生も調べてみたい」といった感想が聞かれました。



牧草地で草種の見分け方を確認

10月に開催された集合学習では、ほ育・育成管理の基本について学びました。参加者が各牧場の初乳を持ち寄り、糖度計による品質評価を行いました。

同月に、3年ぶりとなる十勝管内の視察研修が実施され、大樹町・足寄町の農家から、飼養管理や経営管理の考え方を学びました。

普及センターでは、今後も学習会や視察等を通して、農業後継者や新規参入者の知識習得の支援を行っていきます。



糖度計を用いて初乳品質を比較

## 推進事項の紹介

# 指導農業士・農業士会の活動紹介

10月31日、北海道指導農業士・農業士釧路地区連絡会議主催の「ニュー・マイスターと語る会」が標茶町で4年ぶりに開催されました。

地域の若手農業者の育成を目的とした研修会で、当日は釧路管内の若手農業者および就農を目指している農業研修生など36名の参加がありました。

指導農業士の藤川秀樹牧場で視察研修を行い、その後チャンバツ公民館に移動し、参加

した指導農業士・農業士をオブザーバーに意見交換会を行いました。

参加者からは「牧場の工夫を知ることができて良かった」「何でも相談してとってくださり心強い、ありがたいと思いました」等の感想が聞かれ、とても有意義な研修会となりました。

今後も、普及センターは北海道指導農業士・農業士釧路地区連絡会議の活動を支援していきます。



視察研修



意見交換会

## 推進事項の紹介

# ホームページのアクセス増加に向けた取組

普及の活動や営農に役立つ情報をホームページ（以下HP）で公開しています。R4年には、以下のようなHPづくりに取り組んだことで、月平均約3万回のアクセス（全ページ合算）がありました。

○技術情報のカテゴリ細分化

毎月掲載される技術情報をカテゴリごとに分類する（乳牛飼養管理、農業経営管理など）ことで、記事下方にあるタグから関連した情報を探しやすくしました（図1）

○地域のおいしい商品紹介記事・マップ追加  
加工品、野菜直売所、ファームレストランなどの記事を追加、マップ（図2）を更新することで、目的の記事以外のページも訪問されました。

○職員のHP作成技術習得

職員のだれでもHP記事を作成できるため、多くの記事を掲載できています。

普及センターは今後も見やすいHPづくりを心がけていきます。



図1 記事ページ下のカテゴリから関連記事へ



図2 加工販売マップ

育成牛の発育改善のために、飼養環境を少しでも良くしたいと考えることがあります。そこで、今回は厚岸町で既存の施設の改造を自己施工した事例を紹介します。

### 改造前の飼養環境



改造前の牛舎は、柵で飼養スペースが区切られていたため、隣の牛との舐め合いが起きていました。また、風通しの良くない造りとなっていました。

### 改造内容①



- 柵の位置を互い違いに並べることで、新たに柵を増やすことなく、1頭当たりの飼養スペースを広げました。

### 改造内容②



- 風通しが良くなるように一部の壁を取り払いカーテンを取り付けました。

### 改造内容③



- 隣の牛との舐め合いができないように、柵に板を取り付けました。板は平らで洗えるため、糞などペンについた汚れを掃除しやすくなりました。
- 冬は寒さ対策として上に板を置くことで保温性を高める予定です。

リノベーションしてから生まれた牛に「リノベガール」と名付けました。今後の活躍に期待しています。

